

(様式4)

令和元年度 西臼杵郡公民館実践研究セミナー実施報告書

(主管:北部教育事務所)

日時等	令和元年 11月 19日 (火)	
	開会(13時30分) 閉会(16時30分)	
場所	下川登公民館	
テーマ	人づくり 元気づくり そして地域活性化へ	
参加人数	56 人 (スタッフを含む)	【内訳】 ① 公民館関係 42 人 ② 行政関係 6 人 ③ その他(発表者等) 8 人
実施方法	時間	内容
開会行事	5分	あいさつ(西臼杵郡公民館連絡協議会長 興梧 則夫)
	3分	あいさつ(開催地 下川登公民館長 鈴木 仁志)
実践発表	120分	【事例発表①】 高千穂町下川登公民館活性化プロジェクト委員長 橋本憲史氏 「I ♥(ラブ)しもかわ ～下川登活性化プロジェクトの取組～」 【事例発表②】 高千穂町下川登福祉会(興梧美喜子 工藤房子 佐藤講子)氏 「高齢者を“元気”へと導くサロン活動」
閉会行事	5分	講評(北部教育事務所 社会教育主事 横倉康浩)
現地視察	20分	【現地視察】 逢初天神の視察 「プロジェクト活動により地域住民の憩いの場として蘇った逢初天神」
《成果》 ○ どこにでもある身近な公民館の活発な活動を聞くことにより刺激を受け、自分たちの公民館でも出来ることがあることに気づき、活動の取り組みへの意欲ややる気を呼び起こしたのではないかとと思われる。 ○ 開催地の下川登公民館としては、台風のため中止となった九州地区公民館研究大会の分科会で発表するはずだった事例を西臼杵郡の多くの公民館長や女性部の前で講演する機会を持つことができ、更なる活動の強化につながったと思われる。 ○ 地域住民の一人一人の元気を導くためのリーダーやボランティアの必要性や人材探しの方法を理解したのではないかとと思われる。 《課題》 ○ 長い時間をかけて続けてきた活動が、今やっと成果を見せているところであるが、少子高齢化や過疎が問題とされる現在、この活動を継続し更に発展させていくための人材育成が困難だと思われる。		